

発行：利尻島自然情報センター 利尻町杵形字富士見町 小杉和樹 〒097-0401 Fax 0163-84-3145

今年も駆除作業よろしくお祈いします！

割と厳しい印象の冬でしたが、順調に雪も融けて、既に早春の花々が咲く頃となりました。時々、この通信にも出てくる利尻町役場の駐車場脇にある、植え込みのチシマザクラは昨年より3日早い5月4日に開花しました。

さて、利尻島内のオオハンゴンソウの駆除を開始して18年目を迎えました。まだまだ先は長いと言わざるを得ません。オタトマリ沼周辺は根絶間近と言えるものの、油断はできませんし、種富湿原も気を抜いていたら、昨年は結構な駆除数となりました。連休に種富湿原に行くと見ると、割と大きな株が芽吹いていましたので、今が正念場なのかもしれません。

今年も昨年と同様に、5月から月1回の駆除会を南浜湿原を中心に実施し、7月には「コマドリプロジェクト」に合わせ、北麓野営場から甘露泉までのコバノハイキンポウゲの駆除会とオタトマリ沼湖畔沿いの遊歩道の外来種全般の駆除を実施する予定です。どうか2018年



2018年5月4日開花

もオオハンゴンソウを主とした外来種防除の取り組みに、ご協力をお願い致します。

既に、駆除作業を始めたとの連絡をいただいている方もおられますが、この通信が届きましたら、オオハンゴンソウ防除活動を開始して下さい。今年も出来る範囲で結構ですので、よろしくお祈いします。

2018年駆除会初め！

2018年シーズン最初のオオハンゴンソウ駆除会を行います。日時・場所は下記のとおりです。いつも通り、興味のある方へのお声がけもしていただければ、とても嬉しいです。

- 日 時：5月20日（日）午前9時半から11時半まで
- 場 所：南浜湿原
- その他：小雨決行

これまで、そして、これから

昨年6月に発行した通信57号で、2016年までの駆除数を931,613本とし、2017年中に100万本に達するかもしれないと記載しましたが、848,666本の誤りでした。訂正してお詫びいたします。以下、改めて100万本に関するエピソードを紹介します。

2001年から2017年までの17年間で、922,343本のオオハンゴンソウを駆除しました。そろそろ1,000,000本を達成するのかもしれない…。今年か来年には…。

この数が、どれほどのモノなのかは、今は未だわかりませんが、いつの日かその意味や意義もわかるのかもしれない。

百万本といえば、加藤登紀子さんが歌った「百万本のバラ」。そして、それと共にオオハンゴンソウと云えば、語られるTVドラマの「北の国から」のワンシーン。

蛭に想いを寄せていた正吉が、バラは買えないからと、たくさんのオオハンゴンソウを刈り取っては、蛭に贈るシーンは、結構切ないものでした。しかし、このドラマが放送された1998年は、未だ特定外来種ではなかったものの、オオハンゴンソウは利尻島内では既に問題視されていたわけで、私はTVに向かって「ダメだよ〜」って独り言ちてました…。

100万本。バラでなくとも、凄い数か…。

	種富湿原	南浜湿原	オタトマリ沼	仙法志	杵形	鬼脇	鴛泊	計
2017年実績	5,330本	66,865本	381本	8本	4,814本	0本	0本	77,398本
2018年目標	3,500本	55,000本	400本	50本	200本	0本	0本	59,150本

2018年の駆除作業を開始します。作業をされた方は場所、日時、駆除本数を毎月末までに報告して下さい。郵便、ファクシミリ、E-mail、どれでも結構です。E-mail: kazuki@h2.dion.ne.jp